

6年生のページ

修学旅行記④～東大寺・法隆寺～

2日目、最初の見学地は東大寺です。時代は奈良時代、聖武天皇が世の中の乱れを仏教の力で沈めようとして建てたということ、大仏の大きさが15mあるということは学習済でした。そして、東大寺や大仏を自分の目で見た子ども達は・・・「うわっ」「でかっ」実際の大きさの迫力に、期待通りの反応をしてくれました。

その後、大仏の鼻の穴と同じ大きさの穴をくぐりました。大仏の大きさを感じながら、全員が無事にくぐりました。



東大寺の周辺には、鹿がたくさんいました。1度は数十頭まで減りましたが、地域住民の方が「鹿せんべい」を販売して得たお金で鹿を保護し、今では約1200頭にまで増えたそうです。東大寺の見学後、その鹿せんべいをみんなで鹿にあげてみました。



次は法隆寺を見学しました。時代はまたさかのぼり飛鳥時代。聖徳太子が建てた寺として有名です。今から約1400年以上前にすでにヨーロッパの建築技術を取り入れていたこと、昔は学校として勉強する場として使われていたことなどを教えていただきました。

また、見学後は第2回目の買い物をしました。残りの予算のことも考えながら、初日と同じように真剣に買い物をしていました。

